

安全を考える部会

今必要な安全安心の連鎖とは

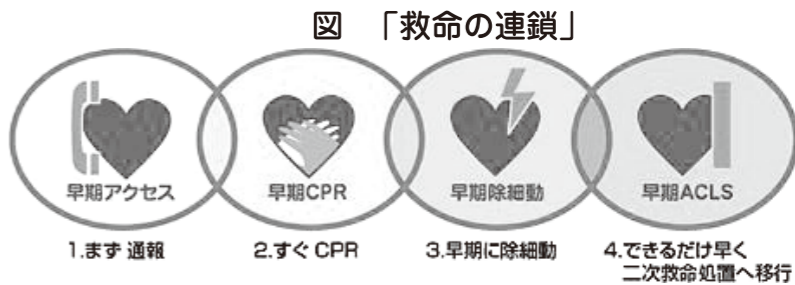
バイスタンダー(救急の現場に居合わせた人)が早い応急手当をしたことにより一命を取り留め、社会復帰される記事が最近多く見受けられます。昨年町内で行われたマラソン大会でもこのバイスタンダーが心肺や呼吸停止の淵から一命を救ったすがすがしい話がありました。こうした事態に遭遇した命を救う活動を「救命の連鎖」と呼ぶそうです。当部会ではこの2年間、住民による安全安心のまちづくり連鎖を求めました。



部会では最初に「青パト」の防犯を取り上げました。青パトが、どのような用務を担っているのか、その活動や同乗して調査した結果、他の市町村の工夫点や、必要な装備の導入がされていないまま防犯ボランティアという協力業務が運営され、帰宅時の学童や生徒向け防犯抑止曲「イカのおすし」の放送をする装置の充促、さらに同報無線での同曲の活用を求める等の提案がまとまりました。

二つ目は町の安全安心の維持を図る提案です。何時来るともわからない地震にまつわる防災に意見が集中しました。国内では最大級の震度七を経験した小千谷市周辺にスポットを当て、町内の有志で視察しました。現地では「災害体験語りべ」の話を聞き、参加者の多くの人が強い衝撃を受けたと思います。帰町後、早速小布施住民の執るべきことについての議論が沸騰しました。「自分と直近家族に対して何を一番必要とするか」が核心となり、一年討議して四つの標語と防災マニュアルを選定

私達の防災マニュアル
●「向こう三軒両隣」の安否確認と避難。
●正確な情報で行動しましょう。
●心かけましょう。
●声掛け合いましょう。
●自分勝手な行動は絶対に避けましょう。
●家族で決めた場所へ全員で避難。



心かけよう 防災標語
『安否確認』 使ってみよう1711
我が身を守る 近所の和(輪・話)
スリッパと懐中電灯 命の枕
グラツときたら 身の安全

書道の通信教育があります。この内容は、例えば「春夏秋冬」と四文字を書いた場合、◎がつく文字が二個あれば進級します。はじめは誰でも八級から始まり月に二度提出する課題の中で◎が二個つけば七級にと、進級していきます。友人のMさんは受講する前からかなりの腕前で、どんどん進級して、なんと七ヶ月で初段に、九ヶ月で二段になりました。しかし二段になってからが大変で、今までのやり方では駄目だと気づき頑張ったのですが、残念ながらそれ以上進級することが出来ず、とうとう挫折し投げ出してしまった。Mさんは、進級することだけを目的にしていたため、日々の練習を重んじて努力することを怠ったため、挫折してしまいました。書道は模倣から始まるといわれています。真似て真似て真似て、その過程が充分であったとき初めて自分流の「字」が生まれてくるのです。人生も同じようなことだと思っています。その模倣の繰り返しの中からやがて自分が確立される時を迎えます。(尾島)

編集後記

中学校生徒会の「CG計画」に学ぶ

環境を考える部会は、「小布施の生ごみのすべてを堆肥にして活用すること」を目標に掲げて、活動しています。生ごみは、増え続ける焼却ごみのなかでも、重さで四割を占めます。生ごみを堆肥化することによって、町の予算に占める焼却費用を軽減することが出来ます。その堆肥を活用することで、花作りや家庭菜園などを盛んにして、資源を町内で循環させることが出来ます。

昨年3月、環境部会では、木製パレットで堆肥化用の木枠を作るワークショップを開くことを、町行政に提言。その具体化として11月に「エコライフおぶせ2009」を開催しました。信州大学教授の高木直樹先生に環境とエコロジーについて講演をいただき、ワークショップでは木製パレット四枚を組み合わせて木枠を作りました。落ち葉や雑草などを積み重ね、時間をかけて堆肥にする道具です。家庭の生ごみの堆肥化にも活用されはじめています。この日に仕上がった木枠二十台は、町内の公会堂や神社などに設置され、活用されています。

平成22年度は、高木先生の研究室と小布施町が環境をテーマに連携して研究する事業が始まります。環境部会としても、信州大学の学生と協働しながら、小布施の環境のあり方を考え、小さなことから行動に移していきたいと思っています。「環境」には、生活環境を清め美しくする「グリーン」と、地球環境を意識した「グリーン」の二つの視点があります。小布施中学校生徒会では、トイレ掃除などのクリーンと、エコのグリーンを合わせた「CG計画」を作り、平成21年度から実施しています。中学生にならって、「小布施町版CG計画」が、町行政の主要な理念として掲げられることを目指して、活動していきたいと思っています。環境部会は十数人の楽しい仲間です。興味のある方はお気軽にご参加ください。歓迎いたします!...

木下 豊(文責)

環境を考える部会

